

安全データシート

SAFETY DATA SHEET

SOLIMIDE® ポリイミド発泡体
 Boyd Corporation (製造者)
 製造者改訂 2015 年 02 月 06 日
 輸入者改訂 2017 年 07 月 01 日

安全データシート(SDS)は、当該品の製造元である米国 Boyd Corporation 製作 SDS(英文)を弊社にて翻訳したものである。Boyd Corporation の SDS は米国および欧州の SDS 作成指針に基づいて作成されている。< >部分は本邦に於ける最新 SDS 作成指針 (JISZ 7253) に基づき弊社が必要と判断し追加記載したものである。

SECTION 1 - 製品 及び 会社情報

製造会社 : SOLIMIDE® Foams Division of Boyd Corporation
 1560 Highway 371 South
 Magnolia, AR 71753
 緊急連絡先 : +1-870-234-1979
 製品名 : SOLIMIDE® AC530、AC550、AC550H、CR650、CR630、CC306、
 HT340 及び TA301 ポリイミド発泡体
 化学名 : ベンゾフェノンテトラカルボキシ イミド ポリマー発泡体
 CAS No : 該当なし
 化学族 : ポリイミド
 推奨用途 : 断熱
 輸入者 : 極東貿易株式会社
 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 7 階
 Tel 03-3244-3616

※SOLIMIDE® は、SOLIMIDE® Foams Division of Boyd Corporation の登録商標である。

SECTION 2 - 組成、成分情報 <対象成分 及び 被爆限界情報>

<単一製品・混合物の区分> : 単一製品
 <化学名又は一般名> : ベンゾフェノンテトラカルボキシ イミド
 ポリマー発泡体

成分名	CAS 番号	暴露限界(OSHA VPEL)
ベンゾフェノンテトラカルボキシ イミド ポリマー発泡体	-	-
エタノール※	64-17-5	TWA 1000 PPM
メタノール※	64-56-1	TWA 200 PPM

※ 製造工程に由来する少量の残存アルコールが製品中に存在することがあるが、時間経過により急速に減少する。

<危険有害成分>

PRTR 法 : 該当なし
 労働安全衛生法第 57 条の 2 通知対象物 : 該当なし
 毒物劇物取締法 : 該当なし

SECTION 3 - 危険有害性の要約

<GHS 分類> 分類対象外または分類出来ない
 <GHS ラベル要素絵表示又はシンボル> 該当なし
 <注意喚語> 該当なし
 <危険有害性情報> 知見なし

健康に考慮すべき潜在要因

HMIS 危険度

健康 : 0
 引火性 : 0
 反応性 : 0

注意 : 数字での危険度合は、当該品の相対的危険度のみを表示している。使用者は、本品を使用する前に、この SDS を熟読および理解する必要がある。

吸入した場合 : 製品を切断、加工する際に粉塵が発生しうる。粉塵は、咽喉刺激を引き起こす可能性がある。
 眼に接触した場合 : 製品を切断、加工する際に粉塵が発生しうる。粉塵は、眼刺激を引き起こす可能性がある。
 肌に接触した場合 : 皮膚刺激は想定していない。
 摂取した場合 : 急性毒性は想定していない。
 過度の暴露による慢性的な影響 : 知見なし

SECTION 4 - 応急処置

吸入した場合 : もし飲み込んだ場合は、新鮮な空気のところへ移動すること。水を摂取し、喉を洗浄する。鼻をかみ、粉塵を取り除く。
 眼に接触した場合 : 直ちに冷水で 10~15 分間目を洗浄する。もし刺激が続く場合は、医師に相談する。
 肌に接触した場合 : 粉塵に接触した可能性がある場合は、個人の衛生状態を良好に保つ。
 摂取した場合 : 摂取した場合は、2 杯分の水を摂取する。

SECTION 5 - 火災時の処置

燃焼性データ

引火点 ℃ : 該当しない
 爆発限界 % : 該当しない

消化剤 : 粉末消火剤、水スプレー(霧状)、泡、二酸化炭素
 危険性燃焼発生物 : 炭素や窒素の酸化物を含む
 特別な消化方法 : 煙や蒸気の吸入を避ける。
 火災・爆発危険性 : 知見なし

SECTION 6 - 漏出時の措置

- 洩出物清掃方法 : ブラシやシャベルで、適切な廃棄用容器に集める。
- 健康への考慮と保護具 : 個人的な保護具の必要性は、本 SDS シートにて提供される情報、洩出により引き起こされる特別な環境、洩出物質、洩出量、洩出が起こった地域に基づき決定されるべきこと。

SECTION 7 - 取り扱い及び管理上の注意

- 取扱上の予防措置 : 特別な要求はない
- 保管上の予防処置 : 紫外線に暴露される箇所に保存しない

SECTION 8 - 暴露防止措置及び保護措置

暴露限界: OSHA や ACGIH では規定されていない。OSHA PELs における、有害な粉塵量は以下の通り。

呼吸器系に対する粉塵量: $5\text{mg}/\text{m}^3$

総粉塵量: $15\text{mg}/\text{m}^3$

- 目の保護 : 過剰な粉塵が生じうる場合は、安全メガネの使用を推奨する。
- 保護手袋 : 通常必要としない。
- 呼吸器の保護 : 過剰な粉塵が生じうる場合は、NIOSH 承認の粉塵/霧用の保護マスクを使用する。
- 排気管理 : 粉塵源の排気をする。
- 機械的排気 : 推奨

SECTION 9 - 物理的および化学的性質

- 製品外観 : ベージュあるいは黄色の固体の発泡体。製造工程に由来する少量の残存アルコールが製品中に存在することがあるが、時間経過により急速に減少する。
- 蒸気圧 : 該当しない
- 水溶解性 : 溶解しない
- 密度 : $4.8\text{-}16\text{ kg}/\text{m}^3$ ($0.3\text{-}1.0\text{ lb}/\text{ft}^3$)
- 融点 : 該当しない

SECTION 10 - 安定性および反応性

- 安定性 : 安定
- 避けるべき条件 : 知見なし
- 避けるべき物質 : 強アルカリ及び酸化性酸溶液
- 危険有害な分解生成物 : 発生しない

SECTION 11 - 有害性情報

- 想定される暴露経路 : 吸入、眼、肌、摂取
- 急性暴露の影響 : 知見なし
- 慢性的な暴露の影響 : 知見なし
- 製品の刺激性 : 刺激性を想定していない
- 感作性 : 感作性を想定していない
- 発癌性 : 知見なし
- 繁殖毒性 : 知見なし

催奇形性 : 知見なし
 胎児毒性 : 知見なし
 変異原性 : 知見なし
 相乗的な製品/効果の名称 : 知見なし

SECTION 12 - 環境影響情報

水生生態毒性 : 知見なし
 陸生生態毒性 : 知見なし
 残留性、分解性 : 知見なし
 生物蓄積性 : 知見なし
 土壤中の移動性 : 知見なし

SECTION 13 - 廃棄上の注意

<焼却処理する。Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。又、Section 5 火災時処置 および Section 10 危険性情報を参照のこと。>

現在発効されている CERCLA や RCRA の規制では、本製品は、危険性のある廃棄物とは規定されていない。国及び地方自治体のすべての法規に準じて産業廃棄物として廃棄すること。国及び地方自治体の要求は地域により大きく異なる場合がある。

SECTION 14 - 運送上の注意

<注意事項> Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。

<国連分類> 当該品は危険物質として規制されない。

<国内規制> 消防法、毒劇物取締法、航空法、船舶安全法、港則法などの輸送規定には該当しない。

<米国 DOT/TDG 及び IATA に於ける輸送規定> 当該品は危険物質として規制されない。米国 DOT における輸送時の適切な名称 : 輸送に関して規定されていない。

<海上輸送に関する IMDG 分類> : 当該品は危険物質として規制されない。

SECTION 15 - その他の法律

日本 :

<消防法> 非危険物

<毒物劇物取締法、高圧ガス取締法、船舶安全法、航空法> 該当しない

<労働安全衛生法> 第 57 条の 1 名称表示すべき有害物質 (該当なし)

有機溶剤中毒予防規定 (該当なし)

第 57 条の 2 第 1 項 SDS の対象となる化学物質 (該当なし)

<廃棄物処理法> 一般産業廃棄物

<P R T R 法> 第 1 種指定化学物質 (該当なし)

第 2 種指定化学物質 (該当なし)

<水質汚濁防止法> 該当なし

米国 :

本製品は、有害物質規制法(15 USC 2601-2629)を遵守している。

CERCLA/RCRA : 危険性なし

SARA 311/312 レポートの危険性分類は、以下の通りである。

Health	Immediate(Acute)	該当しない
Health	Delayed(Chronic)	該当しない
Physical	Fire	該当しない
Physical	Sudden Release of pressure	該当しない
Physical	Reactive	該当しない
Physical	Nuisance Mist/Dust Only	該当しない

SECTION 16 - その他情報

この安全データシートは、Federal OSHA Hazard Communication Rule, 29 CFR 1910.1200(g)(2)で求められている情報を少なくとも含んでいる。

以上